

2022年度決算

日本共産党は「不認定」

決算の認定とは、八千代市のお金の使い方をについて議会として評価するものです。

した。

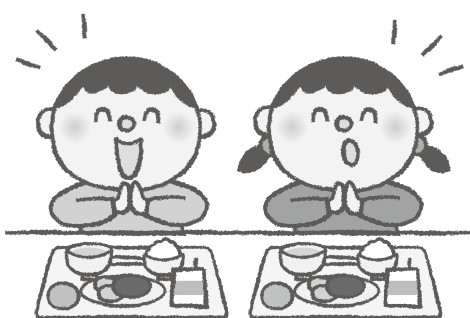
日本共産党は、昨年度予算に対し、子ども医療費の軽減、学校給食の補助、避難所となる体育館へのエアコン設置、コミュニティバスの試行運転の実施などを求めています。その結果、2023年には、県の支援もあり、給食費は、第3子以降無償化。子ども医療費の助成対象は、高校生等までに拡大しています。

日本共産党は市民の声を実現させるために、今後とも取り組んでいきます。

センター給食 残食率増加 自校給食にもどせ

決算委員会で昨年度の「学校給食の残食率」を調査し指摘しました。

八千代市内で最後の自校給食であった、「大和田小」「萱田小」「新木戸小」の自校給食の残食率は、過去3年平均で5%以下でした。しかし、センター給食校16校の残食率は過去3年平均で14%と極めて高くなっています。今回、年度途中に自校給食からセンター給食と指摘し、「不認定」としま



へ変更となった3校は「9・9%」「11・0%」「7・0%」と残食率が上がっています。

保護者は「子どもから給食が美味しくなくなった」と言われたといいます。最近のセンター給食は「美味しくなった」と言われていますが、自校給食と比べると限界があります。

日本共産党は、自校給食にもどし「美味しい給食を子ども達に届ける」ために取り組んでいきます。

八千代台南

危険なガード下の改善を

八千代台南の京成線ガード下の道路について、これまで道路のアンダーパス化や鉄道橋の拡幅工事の検討を行っていますが、費用や工事による影響が広範囲になることから断念。

現在は道路反射鏡や注意喚起の看板設置による安全対策が実施されています。

しかし、京成電鉄との協議は、25年前から行われていません。当時とは周辺の状況や法律、補助金など、事情が変わっていることが多くあります。

再び京成電鉄との協議を実施し、問題解決に向けて検討することを議会で要望しました。

緑が丘地域に中学校を設置せよ

緑が丘地域の中学校不足問題は、西八千代北部特定土地区画整理事業に予定されていた中学校の設置が、無くなってしまったことにあります。

進展が見えない中学校設置について、議会で質問しました。



児童数の増加により、急遽「西八千代地区小中学校等対策検討委員会」が設置され、小学校が新設されることになりました。

日本共産党は、市の未来がかかっているとして中学校の設置を求めました。

近隣の市のようなコミュニティバスやデマンド方式（予約制の相乗り型サービス）

高津団地や阿蘇・睦地域の住民にとつては、市民会館などの公共施設に通うのも、買い物等身近な場所に移動するのも交通が不便で大変です。

地域公共交通計画 今年度中に策定 コミュニティバス運行復活を

日本共産党は、繰り返し求めて質問してきました。今議会ではようやく10月、12月の地域公共交通会議を踏まえて、「今年度末までに計画を策定する予定です。」との答弁がありました。

日本共産党は、安心して公共交通機関を利用できるよう引き続き奮闘する決意です。

日本共産党 八千代市議団 ニュース

2023年(秋季号)

9月議会の活動を中心に作成しています

発行:日本共産党八千代市議団

☎047(483)1151

市役所議員控室 内線3416

<https://jcp-yachiyo.jp/>



市政へのご意見、ご要望をお寄せください

コロナ感染症の病院対応 風邪とは全然違います

新型コロナウイルス感染症が風邪などと同じ5類へ移行されましたが、病院等での扱いは風邪と一緒にではありません。

8月のお盆休みの直前に感染された方は、感染から1週間経った頃に病院に行こうとしたら、検査した病院は休み。コロナ検査を行なっている他の病院に行こうとしたら断られてしまった。さらに「後遺症ですか？」と受付で聞かれる病院もあり「後遺症かどうか自身で判断できないのに、電話口で聞かれて途方に暮れた」と、怒りの声が上がっています。

困った時は、①かかりつけ医②感染症の診断をした医療機関③最寄りの保健所へ相談と千葉県は案内していますが、八千代市の健康づくり課(電話047-483-4646)でも相談できます。しかし、土日や年末年始・ゴールデンウィークなどの相談体制(24時間電話相談)が10月以降無くなってしまったことは問題です。

5類に移行されても「医療機関に電話してから受診を！」は変わらず、病院によっては「他の患者さんと動線を変える」「時間を変えて受診」と、新型コロナウイルスに対する対策がされています。寒さが増し、今後の感染症対策がさらに重要となることから、安心して医療機関にかかる対策を強化する事を求めます。



日本共産党 八千代市議団	
堀口 明子 (事務所) FAX ☎047-767-5030	いはら 忠 (事務所) ☎047-488-7207 ☎047-494-8009
いいかわ英樹 ☎080-1239-8132	

無料法律相談会
専門家が相談に応じます

【日時】 奇数月 第3木曜日 午後2時～4時
【場所】 市役所4階 日本共産党控室
ブラック企業雇用問題・サラ金・医療・介護・年金・税金・教育・子育て・生活保護・地域の要求。何でもどうぞ！ ※予約が必要です

教員不足解消のため

残業代を支給せよ

八千代市の公立学校では、教員の未配置が常態化し、その影響で、担任の先生が、非正規という異常事態となつています。さらに、過労死ラインを超える長時間労働で、心も体もむしばまれています。それにもかかわらず、教師には残業代は支払われません。こんな労働環境では、若者が魅力を感じる訳はなく教員希望者が減るのは当然です。

放題」の法律です。この法律ができた1966年当時、教員の残業時間は一日30分程度でした。本年4月に政府が公表した実態調査では、公立学校教諭の残業時間は一日3時間を超えています。残業代を支給すべきです。議会では「給特法」の見直しについて質問しましたが、「国が行うものであるため、市教育委員会が判断できる立場にはない」と、教員や子どもを守る姿勢が見られない答弁でした。



「導入したいとの思い」と市長答弁

パートナーシップ 一歩前進

教員の勤務は、「教員給与特別措置法」(給特法)により残業代を出さない仕組みになっています。「給特法」は基本給に4%上乗せして一律に支給されているので、何時間残業しても未支給の「定額働かせ

千葉県内ではパートナーシップ・ファミリーシップ制度を導入している自治体は7自治体あり、人口カバー率は53%になります。さらに自治体間の連携を行い、転居の際の行政手続き

基地強靱化は市民を危険にさらす

岸田政権は、5年間で43兆円もの軍拡予算を閣議決定しています。戦後70年守ってきた専守防衛の原則を投げ捨て、敵基地攻撃能力保持という戦争する国へ踏み出しました。その結果、自衛隊基地が攻撃されるリスクが増大し、基地強靱化が必要とされ、習志野駐屯地も対象とされています。

基地強靱化とは、耐電磁波パルス攻撃や核兵器をはじめ、化学・生物兵器による攻撃を想定した主要司令部の地下化などであり、周辺に暮らす私たちも戦争に巻き込まれる危険があります。

日本共産党は議会の中で、世界中が戦争に向けた負のスパイラルに陥らないように、その発端が日本にならないように、そして78年前の戦争の反省からも、日本国憲法第9条を規範とし、核兵器禁止条約の批准など、平和都市宣言を謳う八千代市として声をあげるべきと求めました。

の一部分が簡略化される協定も進んでいます。

9月議会では質問者14人中6人がパートナーシップ制度創設を求めるなどの質問を行いました。「先進市の制度内容等を調査・研究し、制度導入に向けて検討」との答弁でした。

日本共産党は、様々な市民団体からの制度創設を求める声を取り上げ、市長に質問しました。市長は「広く多くの市民のみなさんの意見ということで、導入したいとの思いがある」と答弁。一歩前進です。

日本共産党は「誰にとっても暮らしやすい街」になるように、これからも取り組んでいきます。

マイナンバーカードは止めよ

日本共産党は、マイナンバーカードについて、「個人情報情報の漏洩の可能性」があり当初より反対していましたが、誤登録が、全国で8441件にも登り、今では情報漏洩が現実のものとなっています。

八千代市の「コンビニ交付」は、他の自治体での住民票誤交付により、7月3日〜8月4日までサービスを停止しました。

6月議会で、「安全性の確認は終えている」と答弁しながら、1ヶ月も経たない

うちのサービス停止は、事業者任せで市のチェック機能も果たされない無責任な対応です。

そもそも、発端はマイナンバーカードに起因するもので、「健康保険証と紐付け」「紙の保険証廃止」に対する不安と怒りが広がっています。個人情報保護の観点からも、誤交付はあつてはならないことです。

日本共産党は、紙の保険証を残し、マイナンバーカードの取得を強制させないために頑張ります。

八千代医療センター問題

市長はリーダーシップを発揮せよ

八千代医療センターの呼吸器内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科の診療再開について、市は相変わらず「医師の確保に苦慮している」という答弁を議会ですり返しています。

医師の確保は、女子医大の責任ですが、大学当局に対する市の対応は、及び腰で、不十分です。

7月28日、市民団体が打開を求めて県知事に、常勤医師・看護師の確保や労使紛争等の支援策を求めて申し入れを行いました。県は救命救急センターに指定しているにもかかわらず、「八



オスプレイいらない宣伝
10月10日 八千代緑が丘駅

2023年9月議会 主な議案・請願・日本共産党提出の発議案に対する議決結果											日本共産党市議団調べ ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わらず 敬称略																				
	議決結果	賛成数 反対数	日本共産党			市民クラブ					自由民主党					公明党					八千代市民に寄り添う会			菅野	高山	三田	若松				
			飯川	伊原	堀口	嵐	小澤	崎村	澤田	成田	花島	林	伊東	大澤	大塚	辰巳	塚本	萩原	石山	末永	高橋	立川	森					大竹	飛知和	山口	
決算認定	認定	賛成23 反対4	×	×	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
補聴器の購入（加齢性難聴者）助成制度の創設を求める請願	不採択	賛成9 反対18	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
健康保険証を存続するよう求める意見書	否決	賛成8 反対19	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	
電気・都市ガス料金支援の延長を求める意見書	否決	賛成9 反対18	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○
教員の残業代を適切に支給するよう教員給与特別措置法の改正を求める意見書	否決	賛成6 反対21	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○
核兵器禁止条約締結国会議へのオブザーバー参加を求める意見書	否決	賛成8 反対19	○	○	○	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	×	×
福島第一原子力発電所の汚染水（ALPS処理水）の海洋放出中止を求める意見書	否決	賛成6 反対21	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	